様式第4の二(第4条、第5条関係)

屋内タンク貯蔵所構造設備明細書

事	業	の	概	要																
タニ			延焼 <i>の</i> のあ											床						
ンク専		壁 -	その	他の	壁								出	入	П	(し	きい高	iさ		cm)
用用		屋			根								そ	の	他					
タン	ンク	専用	部に室を	階	数				設	置	階					建築	面積			m²
		ける場合の建 物 の 構 造		建	築 物	の構	造 概	要												
タンクの構造、設備	形			状									常	圧	•	加	圧(kPa)
	寸			法									容	量						
	材	質	、板	厚																
							種		別					数			内径	又心	は作	動圧
	通		気	管																mm kPa
							種		別					数			作	1	助	圧
	安	全	装	置																kРа
	液	量表	長 示 装	苦 置									引力	火防	止装	置	7	有	•	無
注入口の位置			置										入口· 地			7	有	•	無	
ポ	ンプ	`設(備の棚	既 要																
採光、照明設備			備							換気、排出の設備										
配				管																
消	ý	K	設	備							警	報	設	備						
工住	事	請 斤	負 氏	者 名												電話	舌			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 - 2 建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。